

No.2563

明智越え

日時：2017年6月4日（日）

参加者：上ノ原、佐々木、大西、曾和、高石、中橋、櫻井（L，記）

大阪駅8番線8：15発野洲行き新快速に乗車。京都駅JR嵯峨野線33番線より亀岡駅にて下車。（9：30） 駅北口左方向に出て、道なりにアスファルト歩道を行くと両サイドの所々盛り土のあるスタジアム建設用地の看板が。しばらくすると前方に急阪の高架が見えてきたので登っていくと信号が。渡ると長い高架橋があり後程判るのですが右は新保津橋、左は保津橋。どちらか迷って下を見ると、整然と区画された田圃が見えホッとす。右方向に行くも下りきった所で矢張り変だと、元の信号まで戻り逆の方向へ保津橋を渡っていく。渡りきった最初の信号を右に直進する。道中右側に保津八幡宮のクスの巨木が有り、又道沿いには手入れの行き届いてそうな庭木のある立派な大きな民家が多く、眺めながらゆっくり登っていく。左に細暗い道があり登山口のような（10：30） 竹藪を抜け樹林帯の狭い石ころ道や、えぐれた道をひたすら登って行くと峰の堂の説明版が斜めに横たわっていたので、側まで登り皆様に音読する。後に秀吉に敗れた無念の思いから〔無念の〕お堂というオチが付いて伝えられている由。

今までは結構な登りでストックが有難かったが（借り物） ここからはハイキング道風になりホッと。神明峠分岐を左に進み鉄塔下で大休憩（12～13：30）

分岐と方面を勘違いしたため元の分岐まで戻り、分岐右方向に下って行く。

鬱蒼とした杉林を抜け丸太橋を渡ると車道の〔ゆずの里歩道〕右方向へ。やっとこさ赤い保津峡橋が見えてきて渡りきった所が保津峡駅。15：28発に乗り京都駅で新快速に乗り換え大阪駅（16：30）某所で先ずはお疲れ様でしたと乾杯。

この山行記録を書く際なぜか腑に落ちないので今一度読み込んでみると、読みの浅さと思ひ込みが原因と解りました。皆様ごめんなさい。山道有り、ハイキング道ありで、暑すぎず風も心地よく吹き、緑の中を歩き、少しの汗と心地よい疲れでまあ私には良かったかなと安どしましたが。 ご参加頂いた皆様本当に有難うございました。

